

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	介護老人福祉施設整備費等助成事業		
事業担当	福祉部 高齢福祉課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心して生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	平塚市老人福祉施設及び設備の整備費助成要綱		
対象・受益者	特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： _____】		
目的・目標		事業の概要	
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所待機者が解消しています。		介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所待機者を解消するため、介護老人福祉施設の整備を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	支援施設数				単位	施設
	説明・算定式	介護保険事業計画[第5期](平成22年度から)					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
目標			1	1	4		
実績			1	1			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
実績							
成果指標①	指標名	解消された待機者数				単位	人
	説明・算定式	定員増により解消された待機者数(介護保険事業計画[第5期])(平成22年度から)					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標		20	0	0		
実績		22	0				
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
実績							
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
特別養護老人ホームの整備を行う事業者との事前相談、事前協議を行い、県への補助協議書提出の支援をしました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	特別養護老人ホーム入所待機者が依然として多いことから、市民ニーズが高く、市民のニーズに応えるため、特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人に対する市の助成が必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	入所待機者を解消することにより、介護者の負担を軽減できることから、有効性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	特別養護老人ホームの建設費補助は、国の補助がなくなり、社会福祉法人の負担が増加していることから、施設建設促進の観点により市が助成を行うことは妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	特別養護老人ホームを直接整備、運営する自治体もありますが、民間活力を活用する方が効率的です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		特別養護老人ホーム入所待機者を解消するためには特別養護老人ホームの整備だけでなく、高齢者住宅や高齢者生活支援、在宅介護サービス等の充実が必要です。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		介護老人福祉施設整備 事業者の公募	介護老人福祉施設整備 (増床)1箇所の支援、 整備事業者の公募	介護老人福祉施設整備 への支援	介護老人福祉施設整備 への支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	26,023	0	39,000
事業費 (A)		0	26,023	0	39,000
執行率 (%)		—	99.74	—	
内訳	職員 (人)	1.35	1.10	1.25	0.90
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		11,281	9,085	10,130	7,214
フルコスト (A+B)		11,281	35,108	10,130	46,214

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	平成23年度に策定した高齢者福祉計画(介護保険事業計画[第5期])に基づく特別養護老人ホームの整備を推進するため、施設整備を検討する社会福祉法人の募集や相談対応などの支援を進めます。
課長コメント	入所待機者を解消するために高齢者福祉計画(介護保険事業計画[第5期])で掲げた整備目標数を達成することを第一に考えます。なお、平成27年度以降の取組みについては、高齢者福祉計画(介護保険事業計画[第6期])の策定(平成26年度中策定予定)とあわせて検討します。